虐待通報機関

※保育園は必要に応じて地域のネットワークの一員として加わり、積極的に情報の提供と役割分担をすることが求められる。

ネットワークを組む利点

①多面的で柔軟な対応

複数の関係機関が関与することで、情報が集められやすく、対応策の組み合わせも広がる。家族を多様な側面から柔軟に支援できる。

②迅速・的確な対応

情報を共有することで問題状況の認識を統一し、援助方針の共通理解を図ることができる。情報交換の中でお互いの機能・役割を理解し、迅速・的確な対応ができる。

③援助者の支え合い

メンバーによる活動、検討を通して援助者相互の支援の場となる。

関係機関連絡先一覧

関係機関名	住　所	電話番号	FAX
沼津市子育て支援課	沼津市御幸町16-1	055-934-4842	055-934-0345
沼津市社会福祉課 虐待専門相談員	沼津市御幸町16-1	同じ	
東部児相談所	沼津市高島町1-3 東部総合庁舎４Ｆ 東部健康福祉センター	通報 055-922-4199 相談 055-920-2085	

参考資料

虐待予防
チェックシート

記録日　令 和　　年　　月

園長印	主任印	担当印

記録者 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

対象者氏名	性別	クラス名	生年月日
	男・女		平成　年　月　日生(満　才)

保護者名	続柄	住所	電話番号

		チェック項目	状　況
登園時の様子	子ども	□怪我（あざ、傷、こぶ、その他） □表情（ぐずる、元気がない、暗い等） □衛生面（身体の汚れ、異臭、同じ服、服の汚れ） □	
	保護者	□態度登園時（疲れている、その他） 分離時（子どもと視線をあわせない） □遅刻の状況（事前連絡の有無等） □忘れ物が多い □	
遊びと生活の様子	子ども	□食事（がつがつ食べる、飲み込み、その他） □表情（ボーッとしている、無表情等） □おむつ交換、衣服の着脱時 □友人関係（攻撃的、言葉づかい等） □遊びの中での様子（人や物への独占欲、その他） □体調不良 □徘徊 □午睡時（性器の露出等） □	
降園の様子	子ども	□保護者を見る表情、会話 □保護者と再会した時の態度の変化 □	
	保護者	□態度 □保育者を避ける □	
その他	その他の情報	□家族の様子（母親・父親・祖父・祖母・夫婦間 ・その他＿＿＿＿＿＿） □経済状況 □就労状況（常勤・パート・その他） □住まいの様子 □いつもと違う様子 □	

備考	全体状況